



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社

コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡 TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 2021年5月13日

配当金支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	30,269	△5.1	4,689	△3.8	5,192	3.0	3,628	△3.1
2020年12月期第1四半期	31,911	0.7	4,875	△5.3	5,042	△3.4	3,742	1.6

（注）包括利益 2021年12月期第1四半期 6,787百万円（652.9％） 2020年12月期第1四半期 901百万円（△81.9％）

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2021年12月期第1四半期	46.42
2020年12月期第1四半期	47.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	233,975	186,010	79.5
2020年12月期	238,366	182,583	76.6

（参考）自己資本 2021年12月期第1四半期 186,010百万円 2020年12月期 182,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	34.00	-	43.00	77.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	35.00	-	44.00	79.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	3.6	26,000	0.2	27,800	0.3	19,500	1.5	249.48

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	82,050,000株	2020年12月期	82,050,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	3,886,911株	2020年12月期	3,886,911株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	78,163,089株	2020年12月期1Q	78,163,163株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は2021年4月27日（火）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催当日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な経済活動の減速等が懸念され、日本においても外出自粛や訪日外国人の大幅な減少による消費低迷など、不透明な状況が続きました。

そうした状況のなか、当社グループは「“あったらいいな”をカタチにする」をブランドスローガンに、お客様のニーズを満たす新製品の発売や既存製品の育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は30,269百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は4,689百万円（前年同期比3.8%減）、経常利益は5,192百万円（前年同期比3.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,628百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績の概要は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標（経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標など）を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も経常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失も営業利益又は損失に変更したうえで比較しております。

国内事業

当事業では、低気圧による頭痛やだるさ、めまい、むくみなどの様々な不調を感じる方のための漢方薬「テイラック」、高めの血圧を下げる機能性表示食品サプリメント「血圧ヘルプ」、せっけんのようなやさしく清潔感のある香りがお部屋全体にふんわり広がるスティック芳香剤「Sawaday 香るStick SAVON」など昨年春に9品目、昨年秋に14品目の新製品を発売し、売上に貢献しました。

また、新型コロナウイルスの感染予防対策として除菌・衛生関連用品の需要が昨年に引き続き見られ、レンズの指紋や脂汚れを軽く拭くだけでスッキリ落とせる「メガネクリーナーふきふき」、痛くない鼻うがいができる「ハナノア」、ニキビ・肌あれ予防の薬用ローション「オードムーゲ」などが好調に推移しました。

一方、訪日外国人の減少に伴ってインバウンド需要が大きく減少しました。

さらに、外出自粛や飲み会の減少、マスク着用による風邪・インフルエンザ罹患者の減少等により、ニオイのもとから息をリフレッシュする口中清涼剤「ブレスケア」や冷却ツブ配合の貼るタイプの冷却シート「熱さまシート」などが減収となりました。

その結果、売上高は23,581百万円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益は4,292百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では1,377百万円、当第1四半期連結累計期間では1,113百万円となっております。

(外部顧客への売上高の内訳)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)
ヘルスケア	12,316	11,799	△516	△4.2
日用品	10,457	8,436	△2,021	△19.3
スキンケア	1,540	1,719	178	11.6
カイロ	459	512	53	11.7
合計	24,774	22,468	△2,305	△9.3

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

また、昨年の暖冬の反動に加え、今年は各国で気温が低下したことで、米国や中国を中心にカイロが増収となりました。

さらに、昨年10月に実施したM&Aにより当社連結子会社となった米国のAlva-Amco Pharmacal Companies, LLCが、売上に貢献しました。

その結果、売上高は5,745百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は240百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では322百万円、当第1四半期連結累計期間では280百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
米国	1,255	2,235	979	78.0
中国	1,797	2,074	276	15.4
東南アジア	1,078	600	△477	△44.3
その他	631	554	△77	△12.3
合計	4,763	5,464	700	14.7

通販事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告やダイレクトメールを中心とした販売促進による新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は2,221百万円（前年同期比2.3%増）、セグメント利益は26百万円（前年同期はセグメント損失16百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他

当事業には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は1,379百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は147百万円（前年同期比61.1%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では1,223百万円、当第1四半期連結累計期間では1,265百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ4,391百万円減少し、233,975百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（4,101百万円）、受取手形及び売掛金の減少（13,363百万円）、有価証券の増加（3,405百万円）、商品及び製品の増加（2,693百万円）、投資有価証券の減少（1,819百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7,818百万円減少し、47,965百万円となりました。主な要因は、電子記録債務の減少（1,063百万円）、未払金の減少（4,978百万円）、未払法人税等の減少（2,554百万円）、賞与引当金の増加（686百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,426百万円増加し、186,010百万円となり、自己資本比率は79.5%となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加（1,515百万円）、為替換算調整勘定の増加（1,575百万円）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月1日付け公表の「2020年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,253	82,354
受取手形及び売掛金	52,850	39,486
有価証券	16,085	19,491
商品及び製品	8,960	11,653
仕掛品	1,548	1,549
原材料及び貯蔵品	3,631	4,112
その他	2,917	2,492
貸倒引当金	△21	△14
流動資産合計	164,225	161,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	7,961	8,000
機械装置及び運搬具 (純額)	4,729	4,850
工具、器具及び備品 (純額)	1,397	1,418
土地	4,739	4,743
リース資産 (純額)	656	561
建設仮勘定	1,337	1,329
有形固定資産合計	20,821	20,903
無形固定資産		
のれん	7,284	7,571
商標権	4,030	4,129
ソフトウェア	1,286	1,330
その他	192	199
無形固定資産合計	12,794	13,230
投資その他の資産		
投資有価証券	34,474	32,654
長期貸付金	700	724
繰延税金資産	1,443	1,501
投資不動産 (純額)	2,765	2,754
その他	1,908	1,884
貸倒引当金	△766	△804
投資その他の資産合計	40,525	38,714
固定資産合計	74,141	72,848
資産合計	238,366	233,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,558	7,738
電子記録債務	8,368	7,305
短期借入金	13	—
未払金	20,968	15,989
リース債務	170	138
未払法人税等	4,371	1,817
未払消費税等	1,417	735
賞与引当金	2,797	3,484
その他	4,441	4,765
流動負債合計	50,107	41,973
固定負債		
リース債務	505	446
繰延税金負債	1,357	1,717
退職給付に係る負債	1,920	1,935
役員退職慰労引当金	40	40
その他	1,852	1,851
固定負債合計	5,675	5,991
負債合計	55,783	47,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,183	4,183
利益剰余金	187,071	187,338
自己株式	△19,763	△19,763
株主資本合計	174,941	175,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,449	11,965
為替換算調整勘定	△1,517	57
退職給付に係る調整累計額	△1,290	△1,221
その他の包括利益累計額合計	7,641	10,801
純資産合計	182,583	186,010
負債純資産合計	238,366	233,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	31,911	30,269
売上原価	13,689	12,477
売上総利益	18,222	17,791
販売費及び一般管理費	13,347	13,102
営業利益	4,875	4,689
営業外収益		
受取利息	95	37
受取配当金	5	2
不動産賃貸料	76	74
為替差益	—	382
その他	147	85
営業外収益合計	324	582
営業外費用		
支払利息	9	2
不動産賃貸原価	33	23
為替差損	61	—
貸倒引当金繰入額	36	38
その他	17	15
営業外費用合計	157	80
経常利益	5,042	5,192
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	9
その他	93	6
特別損失合計	97	15
税金等調整前四半期純利益	4,946	5,176
法人税、住民税及び事業税	2,179	1,852
法人税等調整額	△975	△303
法人税等合計	1,204	1,548
四半期純利益	3,742	3,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,742	3,628

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	3,742	3,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,527	1,515
為替換算調整勘定	△381	1,575
退職給付に係る調整額	67	68
その他の包括利益合計	△2,841	3,159
四半期包括利益	901	6,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	901	6,787
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	通販 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,774	4,763	2,170	31,708	202	31,911	—	31,911
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,377	322	—	1,700	1,223	2,923	△2,923	—
計	26,151	5,085	2,170	33,408	1,425	34,834	△2,923	31,911
セグメント利益又は損失 (△)	4,381	362	△16	4,726	91	4,817	57	4,875

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額57百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	通販 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,468	5,464	2,221	30,154	114	30,269	—	30,269
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,113	280	—	1,393	1,265	2,659	△2,659	—
計	23,581	5,745	2,221	31,548	1,379	32,928	△2,659	30,269
セグメント利益	4,292	240	26	4,559	147	4,706	△17	4,689

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△17百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの主要な経営管理指標(経営資源の配分の決定や業績の評価などの検討に使用している経営指標など)を經常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益も經常利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前年同四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失も営業利益又は損失に変更したうえで比較しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。